左：坂本橋／右：球磨川坂本地区河川防災ステーション

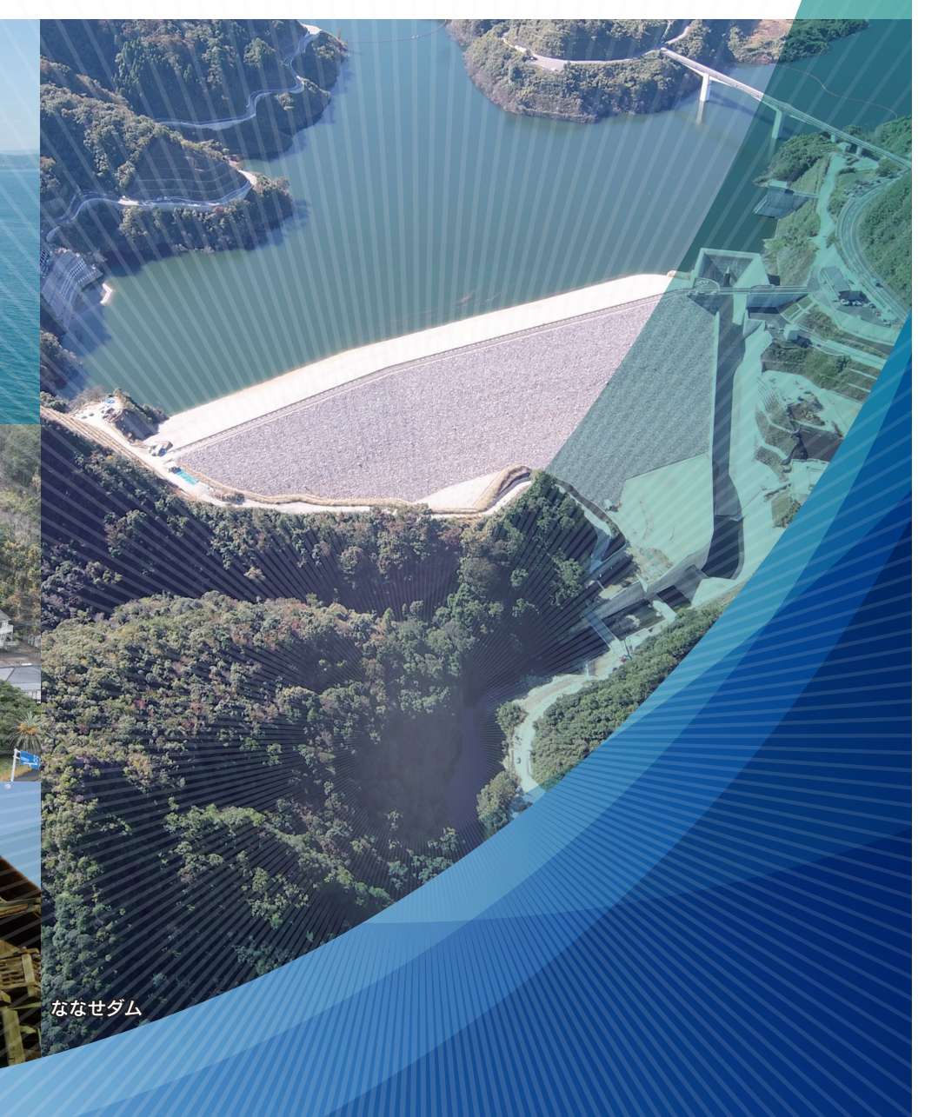
名瀬第二地方合同庁舎

2026事業概要

国土交通省 九州地方整備局

海の中道海浜公園

鹿児島港臨港道路

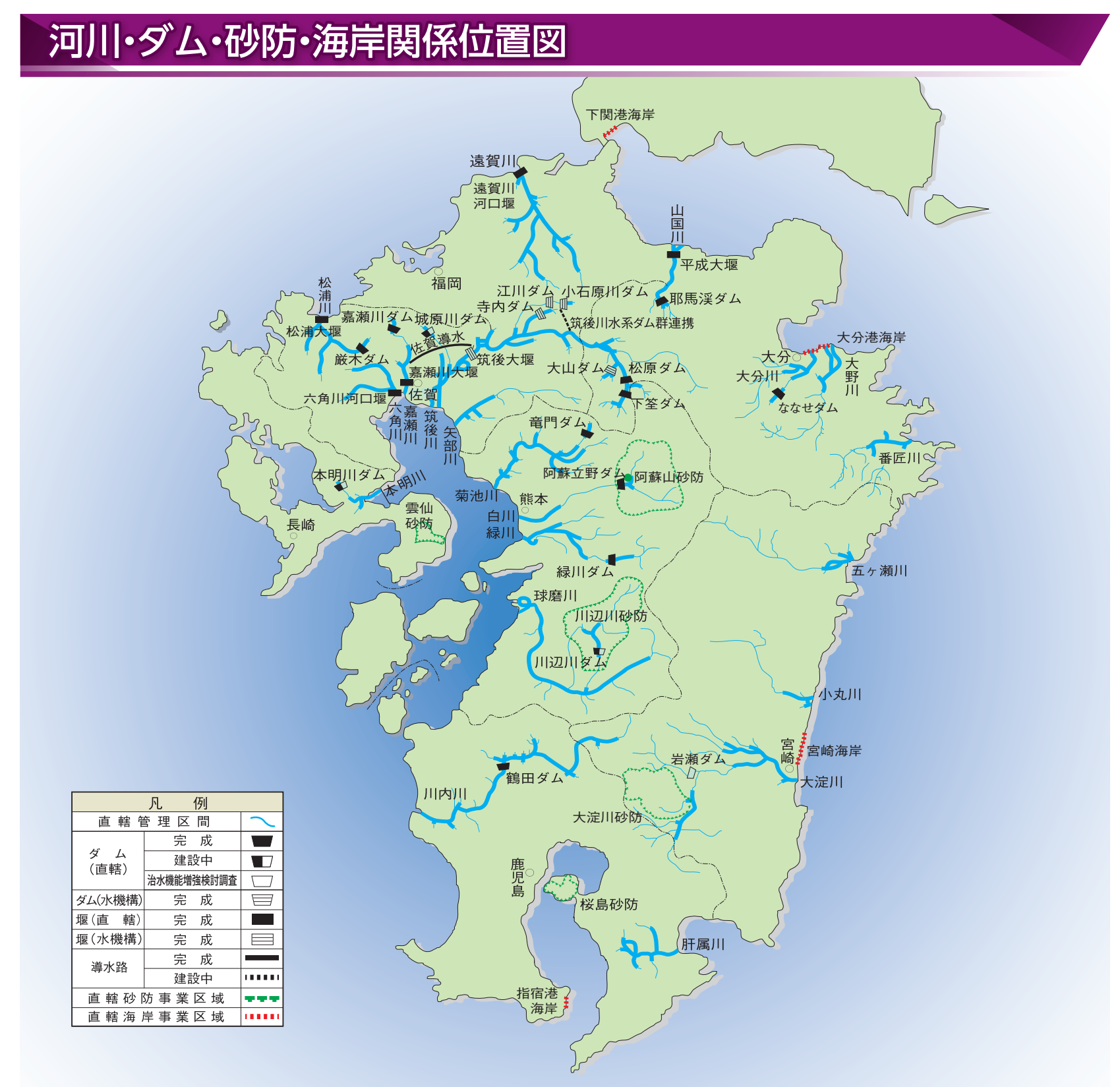

ななせダム

西九州自動車道

吉野ヶ里遺跡

管内関係位置図

河川・ダム・砂防・海岸関係位置図


下関港海岸
遠賀川
遠賀川河口堰
山国川
平成大堰
福岡
江川ダム
小石原川ダム
寺内ダム
耶馬溪ダム
筑後川水系ダム群連携
松浦川
松浦大堰
嘉瀬川ダム
城原川ダム
佐賀導水
大分港海岸
巌木ダム
筑後大堰
大山ダム
松原ダム
大分
大分川
大野川
六角川河口堰
嘉瀬川大堰
下筌ダム
ななせダム
佐賀
六角川
嘉瀬川
筑後川
矢部川
竜門ダム
本明川ダム
本明川
阿蘇立野ダム
阿蘇山砂防
番匠川
長崎
雲仙砂防
菊池川
熊本
白川
緑川
緑川ダム
五ヶ瀬川
球磨川
川辺川砂防
川辺川ダム
小丸川
宮崎
宮崎海岸
岩瀬ダム
大淀川
川内川
鶴田ダム
大淀川砂防
鹿児島
桜島砂防
肝属川
指宿港海岸
凡例
直轄管理区間
ダム（直轄） 完成
建設中
治水機能増強検討調査
ダム(水機構) 完成
堰（直轄） 完成
堰（水機構） 完成
導水路 完成
建設中
直轄砂防事業区域
直轄海岸事業区域

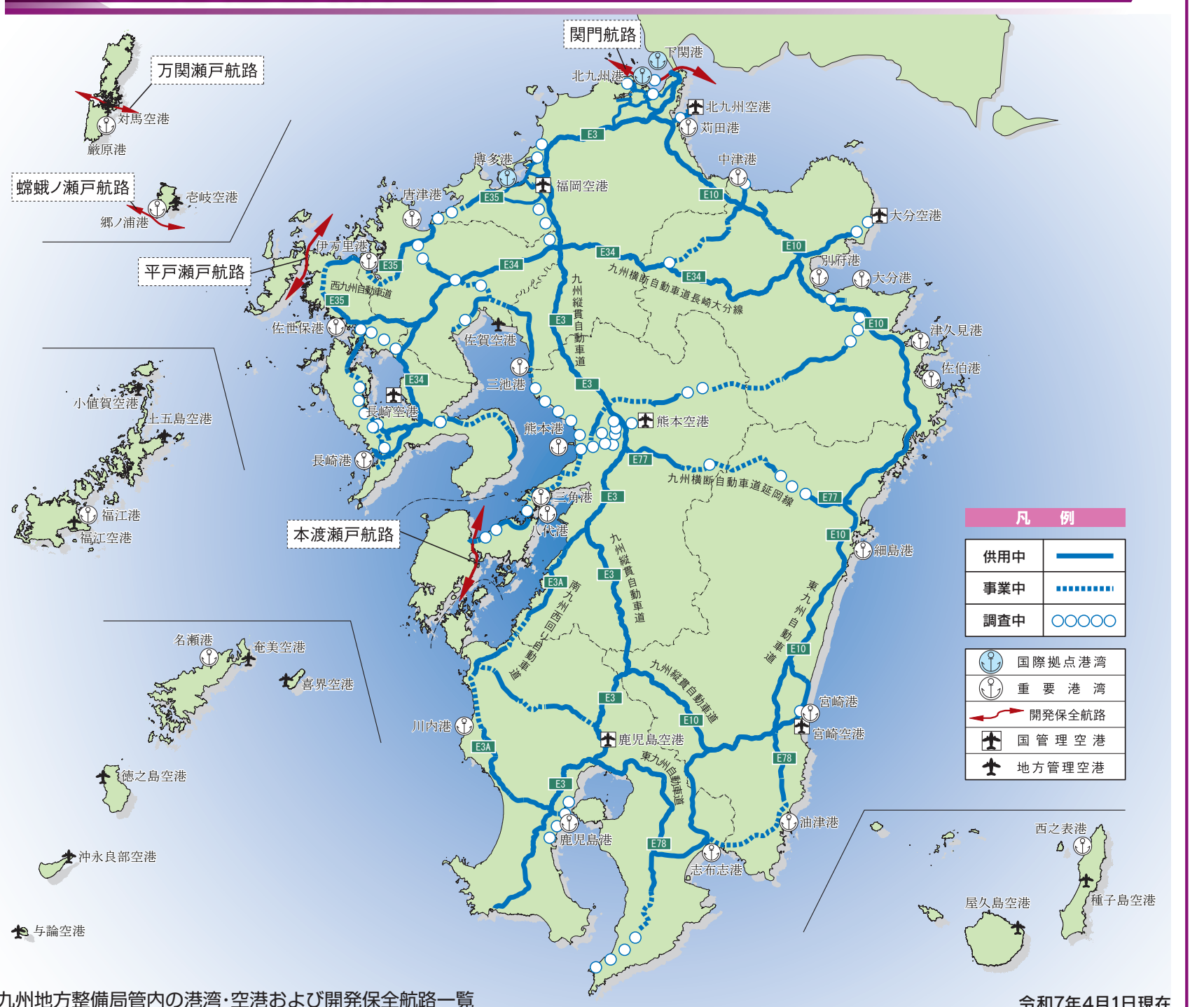
九州地方における県別所管概要

県名	一級河川				二級河川				砂防指定地			海岸保全区域（水管理・国土保全局）			海岸保全区域（港湾局）		
	関係水系数	河川延長(km) 指定区間外	指定区間	合計	水系数	河川数	河川延長(km)	流域面積(km²)	直轄(国)	直轄面積(ha)	補助面積(ha)	全延長(km)	直轄(国)	直轄延長(km)	全延長(km)	直轄(国)	直轄延長(km)
山口県															340.48	下関港	12.02
福岡県	3	263.5	1,039.1	1,302.6	52	149	876.0	1,833			4,182.89	73.89			87.34		
佐賀県	3	220.1	856.3	1,076.4	60	174	509.3	715			1,789.84	15.11			52.13		
長崎県	1	21.9	114.3	136.2	210	341	1,026.1	2,225	雲仙	351.42	3,829.18	327.21			381.67		
熊本県	4	297.7	1,436.8	1,734.5	81	148	627.0	1,535	球磨川 阿蘇山	856.76 86.41	11,983.11	125.12			164.97		
大分県	4	196.5	1,880.3	2,076.8	93	211	988.7	1,902			9,418.56	55.11			116.47	大分港	21.37
宮崎県	3	145.0	1,363.9	1,508.9	53	239	1,285.1	3,616	大淀川	167.32	5,437.49	29.25	宮崎	6.86	30.12		
鹿児島県	2	165.0	713.1	878.1	160	310	1,780.4	4,682	桜島	1,002.65	8,695.13	191.98			206.60	指宿港	1.80
合計	20水系	1309.7	7,403.8	8,713.5	709	1,572	7,092.6	16,508		2,464.56	45,336.20	817.67		6.86	1,379.79		35.19

出典：一級河川・二級河川：令和6年度河川管理統計（国土交通省水管理・国土保全局水政課）
砂防指定地：直轄　砂防指定地面積調書（令和8年1月末時点）
補助　砂防便覧令和4年度版
海岸保全区域：海岸統計令和5年度版

※指定区間外：国が管理する区間
※▭地方公共団体が管理する区間

港湾・空港・道路関係位置図


関門航路
万関瀬戸航路
対馬空港
厳原港
螺蛾ノ瀬戸航路
壱岐空港
郷ノ浦港
平戸瀬戸航路
北九州港
下関港
北九州空港
苅田港
中津港
唐津港
福岡空港
博多港
伊万里港
大分空港
別府港
大分港
佐世保港
佐賀空港
津久見港
佐伯港
小値賀空港
上五島空港
長崎空港
三池港
熊本空港
長崎港
三角港
八代港
福江港
福江空港
本渡瀬戸航路
天草空港
細島港
名瀬港
奄美空港
喜界空港
川内港
宮崎港
宮崎空港
鹿児島空港
鹿児島港
油津港
志布志港
徳之島空港
西之表港
沖永良部空港
屋久島空港
種子島空港
与論空港
九州横断自動車道長崎大分線
九州縦貫自動車道
九州横断自動車道延岡線
東九州自動車道
西九州自動車道
凡例
供用中
事業中
調査中
国際拠点港湾
重要港湾
開発保全航路
国管理空港
地方管理空港

九州地方整備局管内の港湾・空港および開発保全航路一覧

令和7年4月1日現在

種別 県名(市名)	港湾 国際拠点港湾	重要港湾	地方港湾	56条港湾	空港 拠点空港	地方管理空港	その他空港	開発保全航路
下関市	下関							
福岡県	博多・北九州	三池・苅田	5		北九州・福岡			関門航路
佐賀県		唐津・伊万里	7			佐賀		
長崎県		長崎・佐世保・福江 厳原・郷ノ浦	77	22	長崎	壱岐・福江・小値賀 対馬・上五島		平戸瀬戸航路・螺蛾ノ瀬戸航路・万関瀬戸航路
熊本県		熊本・八代・三角	23		熊本		天草	本渡瀬戸航路
大分県		大分・別府・中津 佐伯・津久見	13	2	大分		大分県央	
宮崎県		宮崎・細島・油津	12	1	宮崎			
鹿児島県		鹿児島・川内 志布志・名瀬・西之表	126		鹿児島	種子島・屋久島・奄美 沖永良部・喜界・徳之島 与論		
管内計	3	25	263	25	7	13	2	5

道路の管理延長（道路種類別）

道路区分		全国 実延長(km)	九州 実延長(km)	福岡県 実延長(km)	佐賀県 実延長(km)	長崎県 実延長(km)	熊本県 実延長(km)	大分県 実延長(km)	宮崎県 実延長(km)	鹿児島県 実延長(km)	北九州市 実延長(km)	福岡市 実延長(km)	熊本市 実延長(km)
高速自動車道		9,235	1,028	153	78	46	123	191	220	142	49	2	24
国道	指定区間	24,225	2,422	410	240	218	273	340	312	444	40	78	67
	指定区間外	31,933	5,219	522	392	773	891	717	869	854	130	34	37
県道	主要地方道	57,904	7,755	1,400	547	825	1,054	988	967	1,620	153	92	109
	一般県道	72,027	9,751	1,606	723	852	1,578	1,542	1,052	1,935	98	149	216
市町村道		1,035,760	133,771	25,612	9,100	15,403	18,417	14,905	16,856	22,525	3,890	3,635	3,428
合計		1,231,085	159,946	29,703	11,080	18,118	22,337	18,682	20,275	27,519	4,360	3,990	3,880

※延長は、2024年版道路統計年報による　※指定区間外：一般国道のうち、都道府県及び政令市が担当する区間　※端数処理の関係で合計が合わない場合がある

組織のご案内

●組織図

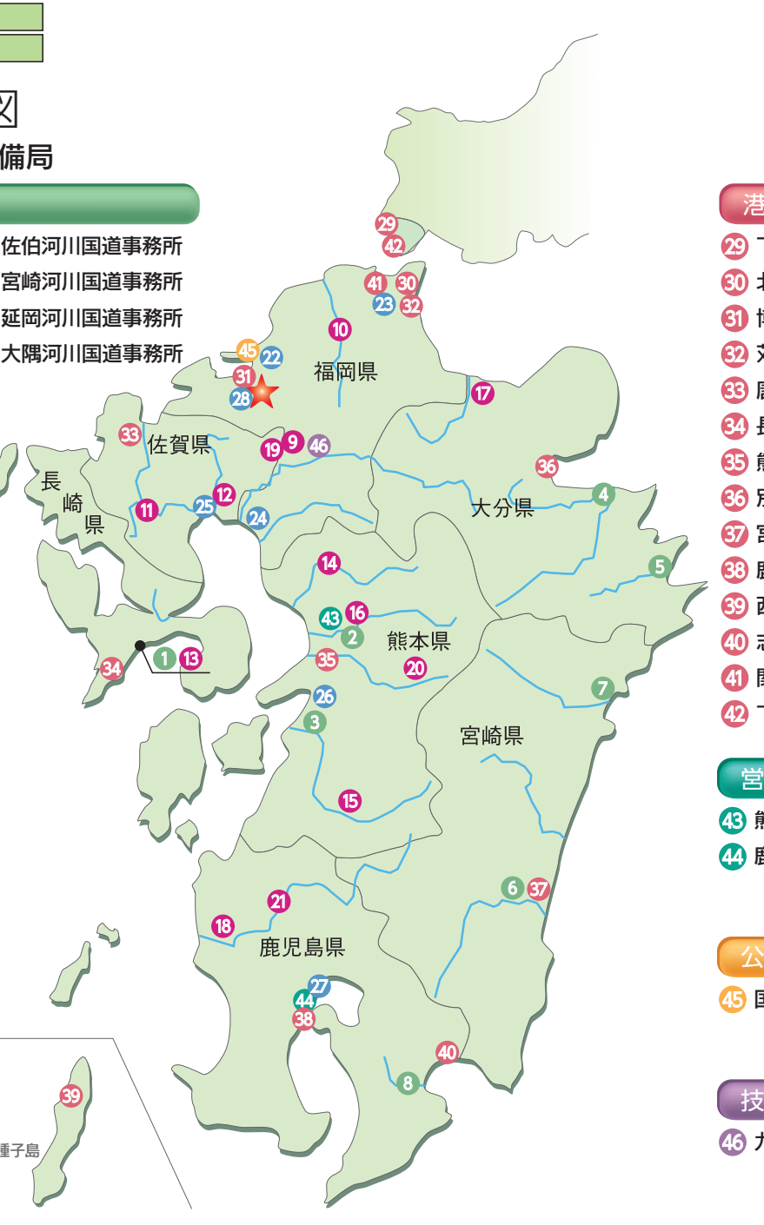
国土交通省
九州地方整備局
- 防災室・災害対策マネジメント室
- 総務部
- 企画部
- 建政部
- 河川部
- 道路部
- 港湾空港部
- 営繕部
- 用地部
- 事務所（46 事務所）

●組織数

本局	
部	8
課・室	50
事務所	46
河川・道路関係事務所	8
河川関係事務所	13
道路関係事務所	7
港湾空港関係事務所	14
営繕関係事務所	2
公園関係事務所	1
技術事務所	1

●局・事務所位置図

★ 国土交通省 九州地方整備局


福岡県
佐賀県
長崎県
大分県
熊本県
宮崎県
鹿児島県
種子島

河川・道路関係事務所（8箇所）
① 長崎河川国道事務所
② 熊本河川国道事務所
③ 八代河川国道事務所
④ 大分河川国道事務所
⑤ 佐伯河川国道事務所
⑥ 宮崎河川国道事務所
⑦ 延岡河川国道事務所
⑧ 大隅河川国道事務所

河川関係事務所（13箇所）
⑨ 筑後川河川事務所
⑩ 遠賀川河川事務所
⑪ 武雄河川事務所
⑫ 佐賀河川事務所
⑬ 本明川ダム工事事務所
⑭ 菊池川河川事務所
⑮ 川辺川ダム砂防事務所
⑯ 阿蘇砂防事務所
⑰ 山国川河川事務所
⑱ 川内川河川事務所
⑲ 筑後川ダム統合管理事務所
⑳ 緑川ダム管理所
㉑ 鶴田ダム管理所

道路関係事務所（7箇所）
㉒ 福岡国道事務所
㉓ 北九州国道事務所
㉔ 有明海沿岸国道事務所
㉕ 佐賀国道事務所
㉖ 八代復興事務所
㉗ 鹿児島国道事務所
㉘ 九州道路メンテナンスセンター

港湾空港関係事務所（14箇所）
㉙ 下関港湾事務所
㉚ 北九州港湾・空港整備事務所
㉛ 博多港湾・空港整備事務所
㉜ 苅田港湾事務所
㉝ 唐津港湾事務所
㉞ 長崎港湾・空港整備事務所
㉟ 熊本港湾・空港整備事務所
㊱ 別府港湾・空港整備事務所
㊲ 宮崎港湾・空港整備事務所
㊳ 鹿児島港湾・空港整備事務所
㊴ 西之表港湾事務所
㊵ 志布志港湾事務所
㊶ 関門航路事務所
㊷ 下関港湾空港技術調査事務所

営繕関係事務所（2箇所）
㊸ 熊本営繕事務所
㊹ 鹿児島営繕事務所

公園関係事務所（1箇所）
㊺ 国営海の中道海浜公園事務所

技術事務所（1箇所）
㊻ 九州技術事務所

国土交通省九州地方整備局
〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号　福岡第二合同庁舎　TEL.092(471)6331(代)
ホームページ　https://www.qsr.mlit.go.jp/　Eメール　qsr-kikaku@ki.milt.go.jp

みなさまの声を聞かせてください。九州地方整備局ホームページ「お問い合わせ」で受け付けています。

九州地方整備局 お問い合わせ
九州地方整備局 X(旧 Twitter)
九州地方整備局 YouTube
九州地方整備局 Instagram

九州地方整備局
博多駅
山王公園

河川事業

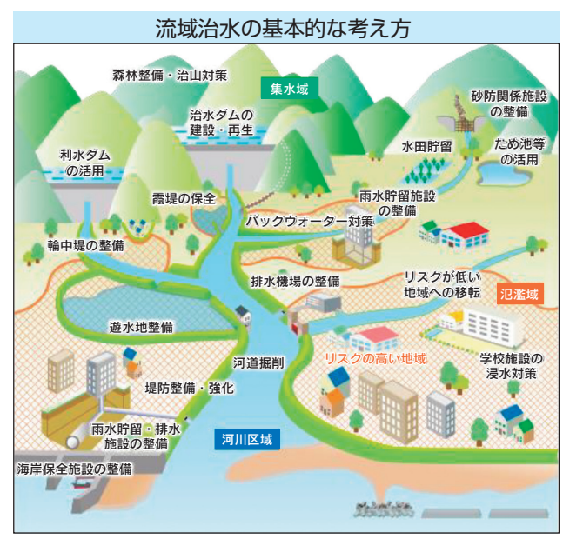
流域治水の加速化・深化

流域治水の推進

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域[※1]から氾濫域[※2]にわたる流域の国・県・市町村・企業・住民等のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」の加速化・深化を図り、「水災害による被害の最小化」を実現します。

※1 集水域：雨水が河川に流入するエリア　※2 氾濫域：河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア

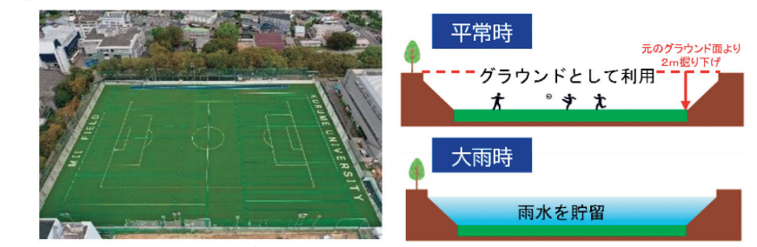
流域治水の基本的な考え方


森林整備・治山対策
集水域
治水ダムの建設・再生
砂防関係施設の整備
利水ダムの活用
水田貯留
ため池等の活用
霞堤の保全
雨水貯留施設の整備
輪中堤の整備
バックウォーター対策
排水機場の整備
リスクが低い地域への移転
氾濫域
遊水地整備
河道掘削
リスクの高い地域
学校施設の浸水対策
堤防整備・強化
雨水貯留・排水施設の整備
河川区域
海岸保全施設の整備

九州における流域治水の取組事例

雨水貯留施設の整備

福岡県久留米市により、大学のグラウンドを活用した雨水貯留施設が整備されました。


平常時
元のグラウンド面より2m掘り下げ
グラウンドとして利用
大雨時
雨水を貯留

久留米大学グラウンドでの雨水貯留施設（筑後川水系）

水害リスクが高い地域からの移転

移転先確保のための災害公営住宅や新たな宅地等の整備と連携して河川整備(引堤・遊水地)を実施しています。

災害公営住宅（R5完成）
宅地整備のイメージ
移転先地
塚ノ丸団地
国道219号
遊水地整備
移転促進区域
球磨川

河川整備と連携した水害リスクが高い地域からの移転（球磨川水系）

流域治水の自分事化

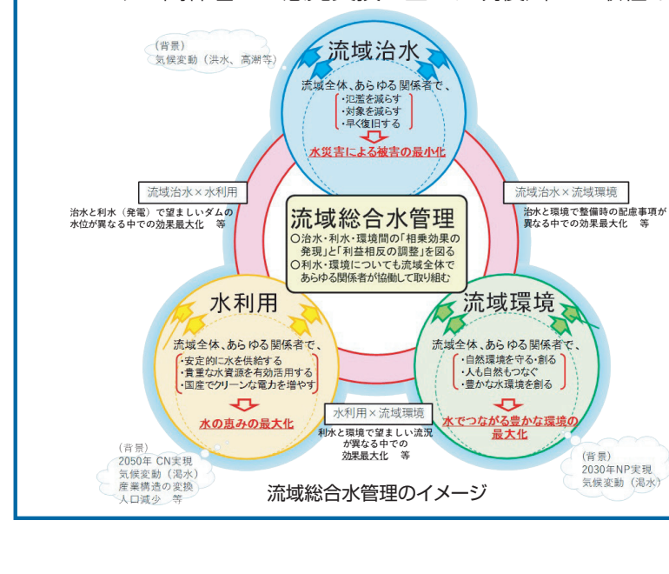
流域内の企業や住民等に対して、水災害時の避難行動計画（マイ・タイムライン）や事業継続計画の作成支援といった流域治水への理解を深める取組を自治体や河川協力団体等と連携して行っています。

事業継続計画(BCP)の作成支援（緑川水系:熊本県御船町）　小学生によるマイ・タイムラインづくり（番匠川水系:大分県佐伯市）

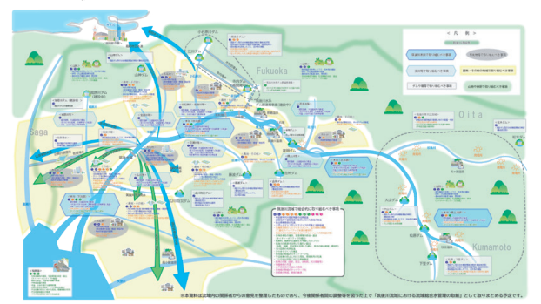
流域総合水管理の推進

流域治水・水利用・流域環境の一体的な取組の推進

治水に加え、利水・環境に対しても流域全体であらゆる関係者が協働して取り組むとともに、流域治水・水利用・流域環境の一体的な取組を進めることで「水災害による被害の最小化」「水の恵みの最大化」「水でつながる豊かな環境の最大化」を実現させる「流域総合水管理」を推進します。九州では、先行して、筑後川水系において流域総合水管理の取り組みを進めており、令和7年度は、流域のあらゆる関係者との意見交換を基に、筑後川での取組イメージを取りまとめました。


流域治水
水災害による被害の最小化
流域治水×水利用
流域治水×流域環境
流域総合水管理
水利用
水の恵みの最大化
流域環境
水でつながる豊かな環境の最大化
水利用×流域環境

流域総合水管理のイメージ


筑後川における流域総合水管理の取組イメージ

筑後川流域水懇談会（令和7年3月設置）による議論

防災・減災、国土強靱化の着実な推進

近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害や切迫する地震災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、九州地方整備局では「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に進めます。

水害の頻発・激甚化に対応する治水対策の推進

安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくため、激甚な水害が発生した地域において、集中的に防災・減災対策を実施します。また、想定される被害状況を踏まえ、治水安全度の抜本的な向上を早期に図るため、事前防災対策などの治水対策も重点的に実施します。

流下断面拡大のための堤防（引堤）を整備（川内川河川改修事業）

JR川内駅
天大橋
川内川
天辰第一地区土地区画整理事業
天辰第二地区土地区画整理事業
新しい堤防
新しい堤防（整備中）
堤防跡
旧堤防

治水安全度向上のための洪水調節施設整備（六角川河川改修事業）

牛津川遊水地
初期湛水池
牛津川
下流排水機場（新設）

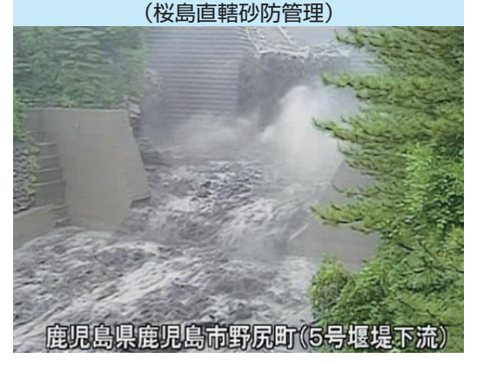
治水機能を有するダムの管理（緑川ダム）

総合的な土砂災害対策の推進

集中豪雨の増加や火山噴火等により激甚化・頻発化する土砂災害に対して、ハード・ソフト一体となった総合的な対策を実施します。

砂防堰堤の整備（阿蘇山直轄砂防事業）

砂防施設の管理（桜島直轄砂防管理）


鹿児島県鹿児島市野尻町（5号堰堤下流）

海岸侵食対策の推進

侵食が進行している宮崎海岸において侵食対策を実施します。

突堤の整備（宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業）

次の世代へ繋ぐ魅力ある川づくり

河川環境の保全・創出

河川の整備においては、各流域の特性に応じた多様な生物の生息・生育・繁殖環境の場を保全、創出します。

球磨川

アユの産卵場となる良好な環境を創出するため、加藤清正公が約400年前に築造したと言われる「八の字堰」を復元

水辺を活かしたまちづくり（かわまちづくり）

地域や自治体等と連携し、まち空間と融合した魅力的な河川空間の整備・活用等を行い、地域の賑わい創出を推進します。

日常利用やイベントスペースとして活用

五ヶ瀬川

カヌー競技場として活用

川内川

公園・営繕

公園事業

地域活性化に寄与する「国営公園」の整備・管理

九州には海の中道海浜公園（福岡県福岡市）と国営吉野ヶ里歴史公園（佐賀県神埼市・吉野ヶ里町）の2つの国営公園があります。
海の中道海浜公園では豊かな自然環境を活かした広域レクリエーション拠点として、国営吉野ヶ里歴史公園では優れた文化的資産を活かした歴史・文化の体験・発信拠点として、地域活性化に寄与する整備・管理運営を推進しています。

海の中道海浜公園

公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、官民連携で宿泊施設等を整備・管理運営

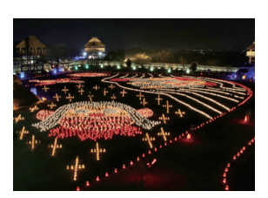
広大なネモフィラ畑など、魅力的な花修景の形成

イベントの開催地として活用
写真は凧揚げフェスティバル

国営吉野ヶ里歴史公園

特別史跡「吉野ヶ里遺跡」において、弥生時代の『クニ』の中心的な集落を実物大で復元整備

歴史体験・学習の場として活用


イベントの開催地として活用
写真は光の響

営繕事業

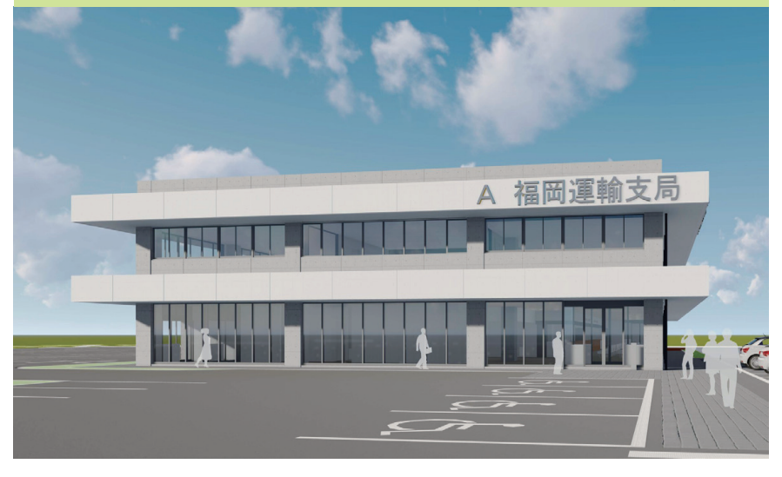
まちづくりと調和した「官庁施設」づくり（官庁営繕）

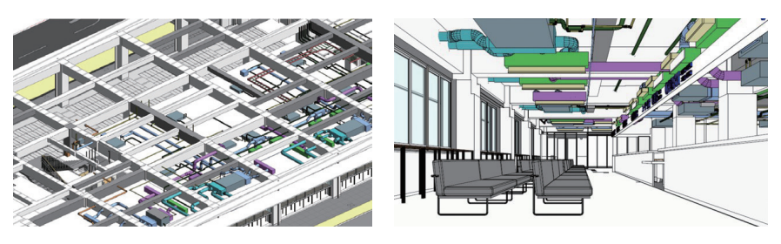
国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◆大分森林管理署(大分県大分市)
環境と調和した木材利用庁舎（令和7年度完成）

環境負荷低減に配慮した施設整備
（木造耐火建築物、内装の木質化）

◆福岡運輸支局（福岡県福岡市）
海の水平線、対岸の稜線と調和した庁舎（令和8年度完成予定）




BIM を活用した品質確保、生産性向上（3次元での部材調整、検証）

DX関係

DXや働き方改革の推進

インフラ分野のDX推進

データとデジタル技術を活用し、建設業や職員の働き方を変革することで、安全・安心で豊かな生活を実現するためDXの推進に取り組んでいます。

【災害対応のDX】
360°映像や三次元（点群）データ等を用いて、安全かつ正確に災害現場を把握し、早期復旧を目指します。

360°映像

三次元（点群）データ

【バーチャルツアー】
UAV（ドローン）で撮影した上空からの360°映像を組み合わせ、上空の様々な視点から現地を確認できます。

SVT 画像

令和6年能登半島地震 被災状況ポータルサイト

【メタバース（仮想世界）を用いた合意形成】
インフラ整備後の内容をリアルな3Dモデルで作成し、VRによる仮想世界で関係者への事業説明に役立てています。

VRを活用した地元説明会

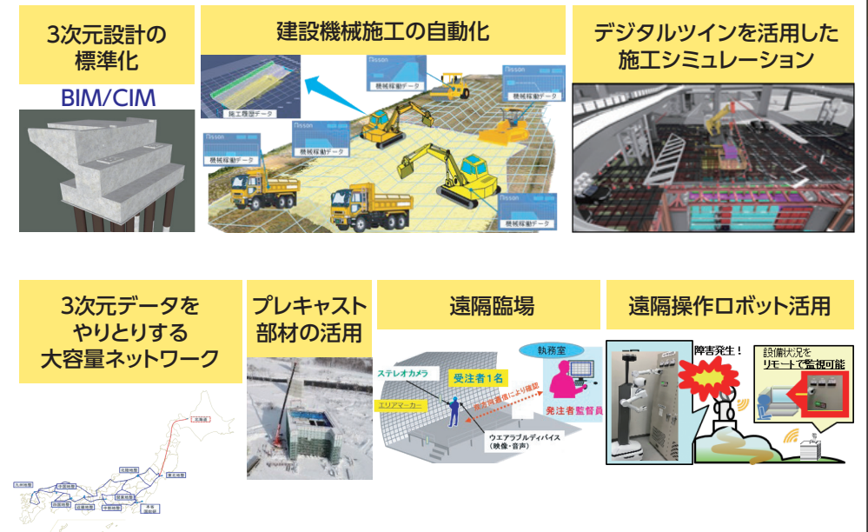
※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

九州インフラDX推進室
Kyushu Infrastructure Digital Transformation office
インフラ分野における九州地方整備局のDXの様々な取組を紹介しています。
九州インフラ DX 推進室 HP

i-Construction2.0の推進 i-Construction

これまで進めてきたi-Constructionの取組を深化し、更なる抜本的な建設現場の省人化対策を「i-Construction2.0」として建設現場のオートメーション化の実現に取り組んでいきます。

【i-Construction2.0～建設現場のオートメーション化～】


3次元設計の標準化
BIM/CIM
建設機械施工の自動化
デジタルツインを活用した施工シミュレーション
3次元データをやりとりする大容量ネットワーク
プレキャスト部材の活用
遠隔臨場
遠隔操作ロボット活用

i-Construction2.0で実現する目標

省人化
- 持続可能なインフラ整備・維持管理体制の構築
- 少なくとも省人化3割、すなわち生産性1.5倍を実現

安全確保
- 建設現場の死亡事故を削減

働き方改革・新3K
- 屋外作業のリモート化・オフサイト化

道路事業

社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

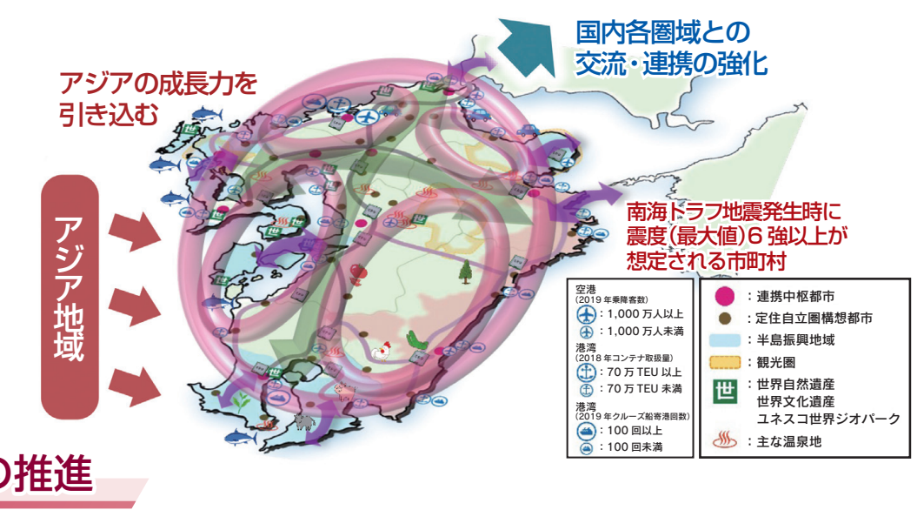
新広域道路交通ビジョン・計画

九州の将来像実現に向けた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定(R3.7)しました。
「クロス」を中心とする骨組みを軸に、いくつもの「リング」を形成し、九州全域に広域な道路ネットワークを行き渡らせるとともに、災害に対するネットワークの強靱化を図ります。

『クロス』から『リング』へ
九州リングネットワーク

■『クロス』九州の南北・東西軸をつなぐネットワーク

■『リング』クロスを中心に、リングで新たに連携するネットワーク


アジアの成長力を引き込む
国内各圏域との交流・連携の強化
アジア地域
南海トラフ地震発生時に震度（最大値）6強以上が想定される市町村
連携中枢都市
定住自立圏構想都市
半島振興地域
観光圏
世界自然遺産 世界文化遺産 ユネスコ世界ジオパーク
主な温泉地

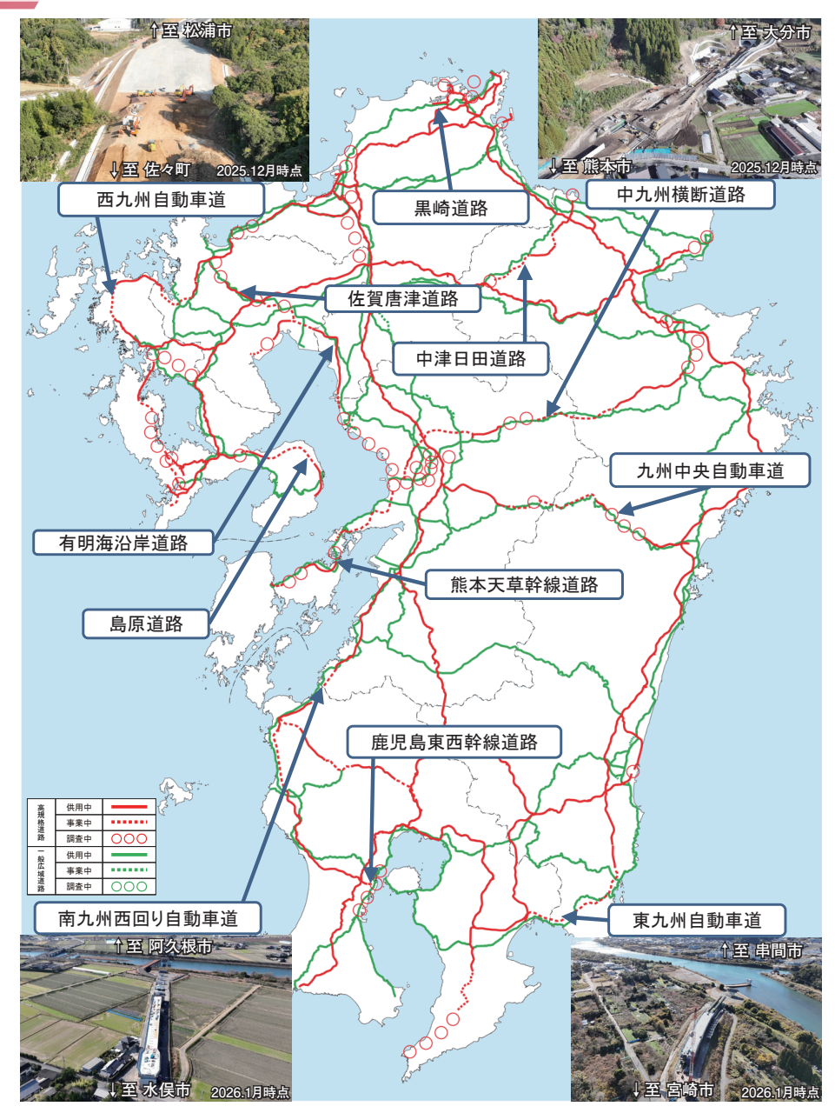
広域道路ネットワーク整備の推進

九州の道路ネットワークを整備し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図ります。
また、シームレスな拠点連結型国土の形成を図るとともに、デジタル実装した社会を支え、人流・物流の円滑化・活性化を図るため、地域・拠点をつなぐ広域道路ネットワークの整備を推進します。

【主な事業中の高規格道路】

- 九州中央自動車道
- 東九州自動車道
- 南九州西回り自動車道
- 西九州自動車道
- 黒崎道路
- 鹿児島東西幹線道路
- 中九州横断道路
- 熊本天草幹線道路
- 島原道路
- 佐賀唐津道路
- 有明海沿岸道路
- 中津日田道路

総延長：約240km


至 松浦市
至 佐々町 2025.12月時点
西九州自動車道
黒崎道路
至 大分市
至 熊本市 2025.12月時点
中九州横断道路
佐賀唐津道路
中津日田道路
九州中央自動車道
有明海沿岸道路
熊本天草幹線道路
島原道路
鹿児島東西幹線道路
南九州西回り自動車道
至 阿久根市
至 水俣市 2026.1月時点
東九州自動車道
至 串間市
至 宮崎市 2026.1月時点

国土交通省が今後目指す高規格道路ネットワークのあり方として、「2050年、世界一、賢く・安全で・接続可能な基盤ネットワークシステム」、通称「ワイズネット」を掲げております。
詳しくはコチラから⇒

防災・減災、国土強靱化の強力な推進（道路）

交通の安全安心確保

通学児童や歩行者等の安全・安心な歩道空間を確保するため、通学路対策等を推進します。

▲整備前

▲整備後　国道34号　長崎県長崎市

インフラの老朽化対策

急速に進む施設の老朽化に対応するべく、老朽化対策を推進します。対策にあたっては定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

トンネル定期点検

九州道路メンテナンスセンターによる自治体への技術助言状況

効率化、省力化のためDXを活用

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、良好な景観形成・観光振興、安全で快適な通行空間の確保の観点から策定した無電柱化推進計画に基づき、推進します。

国道208号　福岡県大牟田市(船津地区)【事業中】

▲整備前

▲整備後イメージ

防災

大規模災害（地震、台風等）が起きた時、電柱倒壊による道路の寸断を防ぎます。

景観・観光

景観を阻害する電柱・電線をなくし、美しい景観を取り戻します。

安全・快適

電柱をなくし、歩道を広げることで、歩行者の安全性・快適性を確保します。

無電柱化は、3つの観点から求められています。

魅力ある地域づくり

「道の駅」第3ステージの取組の推進

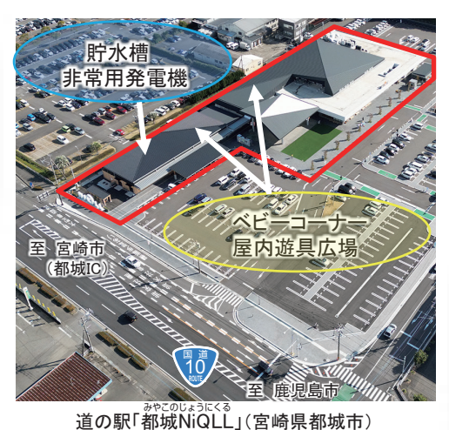
「道の駅」の第3ステージとして、防災機能強化、地域センター化等に向けた取り組みを推進します。

防災拠点化

防災機能強化

防災施設（貯水槽）

防災施設（非常用発電機）


貯水槽
非常用発電機
ベビーコーナー
屋内遊具広場
至 宮崎市（都城IC）
至 鹿児島市
国道10

道の駅「都城NiQLL」（宮崎県都城市）
令和5年4月のリニューアルに併せて、防災施設や子育て支援設備を整備しました。

地域センター化

子育て支援設備（授乳室）

子育て支援設備（屋内遊具）

・防災道の駅「うきは」より、被災地へ防災用コンテナ型トイレを派遣しました。

防災用コンテナ型トイレ外観

被災地での利用状況
（R6年1月能登半島地震　道の駅「あなみず」）

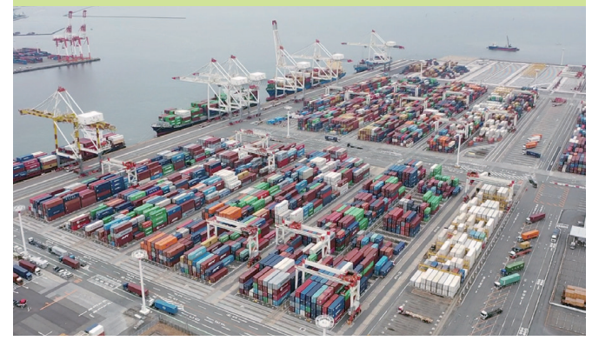
港湾空港事業

持続的な経済成長の実現

港湾の機能強化・航空ネットワークの充実

サプライチェーンの強靱化のため、国際コンテナターミナルや内航フェリー・RORO船ターミナルの機能強化により海運へのモーダルシフトへの対応を推進します。

国際コンテナターミナルの利用状況（博多港）



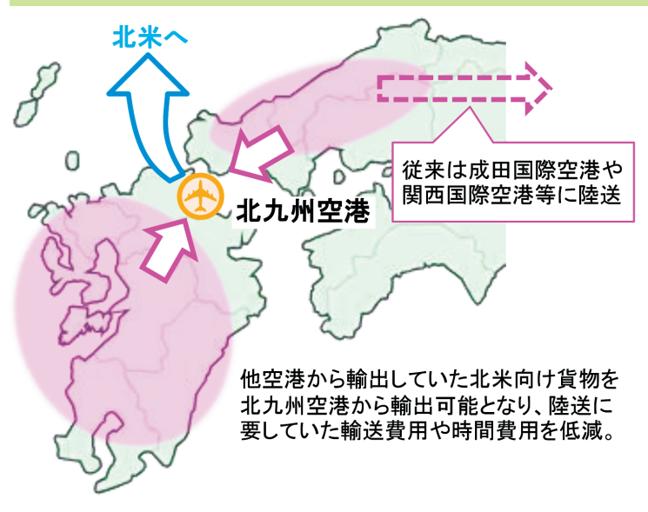
RORO船ターミナルの利用状況（大分港）

航空需要の回復及び増加を見据えた航空ネットワークの充実に対応するため、空港施設整備による空港の機能強化を推進します。

北九州空港の滑走路延長

・長距離国際貨物定期便の就航
・背後圏の産業の活性化と国際競争力の向上
滑走路 2,500m
500m 延長
整備イメージ

滑走路延長の事業効果

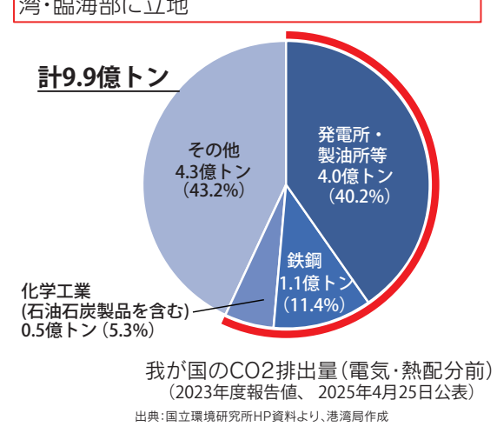

北米へ
北九州空港
従来は成田国際空港や関西国際空港等に陸送

他空港から輸出していた北米向け貨物を北九州空港から輸出可能となり、陸送に要していた輸送費用や時間費用を低減。

港湾におけるGXの推進

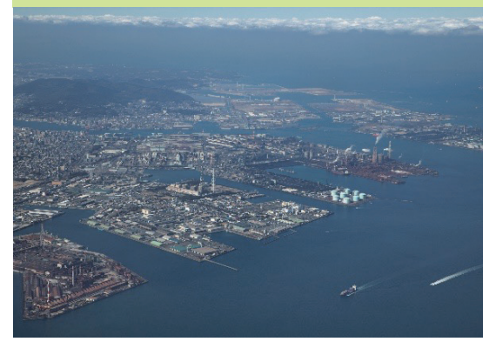
脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成、洋上風力発電の導入促進など、港湾におけるGXを推進します。

CO2排出量の約6割を占める産業の多くは、港湾・臨海部に立地



我が国のCO2排出量（電気・熱配分前）
（2023年度報告値、2025年4月25日公表）
出典：国立環境研究所HP資料より、港湾局作成

多くの企業が集積する港湾・臨海部



港湾を拠点とした洋上風力発電の導入事例

※ひびきウインドエナジー提供

（北九州港）

国民の安全・安心の確保

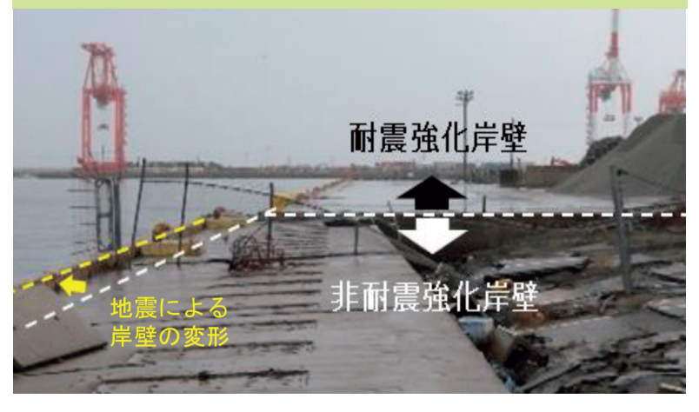
耐震強化岸壁の整備

南海トラフ地震等大規模地震の発生が危惧される中、海上からの人命救助や緊急物資輸送を支えるため、海上交通ネットワーク維持に向けた耐震強化岸壁の整備を推進します。

耐震強化岸壁の整備状況（八代港）

2020年10月に供用開始した耐震強化岸壁

耐震強化岸壁と通常の岸壁の比較（仙台塩釜港）


耐震強化岸壁
非耐震強化岸壁
地震による岸壁の変形

津波・高潮対策等の推進

港湾海岸の背後地には人口や物流・産業・市街地機能が高度に集積しており、津波及び高潮・高波による浸水被害を防止・軽減するため、護岸・陸閘・水門といった海岸保全施設の整備を推進します。

護岸整備状況（大分港海岸）

整備区間と未整備区間の防護状況の比較（下関港海岸）

個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり

地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

国際バルク戦略港湾における資源・エネルギー・食糧の安定供給に向けた取組や、離島における住民生活の安定の確保のため、航路の就航率向上、人流・物流の安全確保のための港湾整備を推進します。

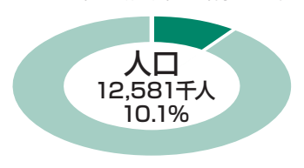
国際バルクターミナルの整備状況（志布志港）

離島ターミナルの利用状況（名瀬港）

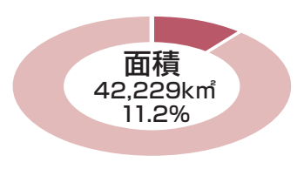
九州の特徴と将来像

九州地方の現状

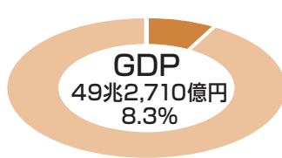
全国に占める、九州地方の人口、面積、域内総生産（名目GDP）、製造品出荷額は、1割程度です。
九州の恵まれた地理的環境を活かし、成長が期待される産業を今後発展させるためにも、人流・物流のネットワーク整備、すなわち社会資本整備が必要不可欠となっています。



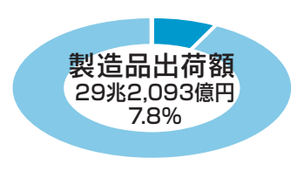
出典：令和7年1月 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）



出典：令和7年10月 全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）



出典：令和4年度 県民経済計算（内閣府）

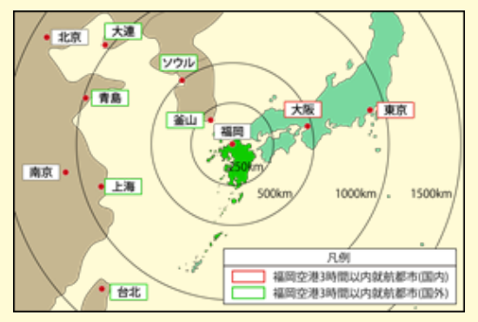


出典：2024年経済構造実態調査 製造業事業所調査（経済産業省）

九州の主な特徴

アジアの玄関口

◆東アジアの概ね中心に位置している九州は古来より、アジア等の海外から人・物・情報を取り入れ、全国に伝えていくゲートウェイの役割を担ってきました。

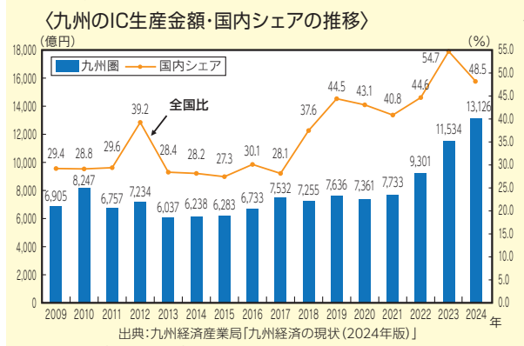

北京
大連
ソウル
青島
釜山
大阪
東京
福岡
南京
上海
台北
500km
1000km
1500km
凡例
福岡空港3時間以内就航都市(国内)
福岡空港3時間以内就航都市(国外)

出典：九州地方整備局「九州圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）概要版」
地理的にアジアの玄関口に位置する

成長期待産業が集積

◆九州のIC（集積回路）生産金額は、国内シェア約50%（2024年）と高く設備投資も活発化しています。

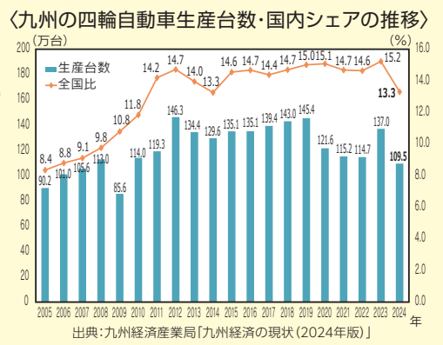
〈九州のIC生産金額・国内シェアの推移〉



出典：九州経済産業局「九州経済の現状（2024年版）」
IC（集積回路）生産金額の国内シェアは約50%

◆九州の自動車産業は完成車工場の立地に伴い、部品の製造・加工等を担う自動車関連企業の集積が北部九州を中心に進んでいます。

〈九州の四輪自動車生産台数・国内シェアの推移〉

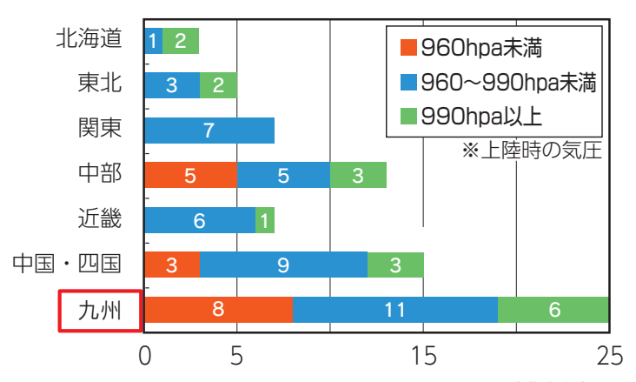


出典：九州経済産業局「九州経済の現状（2024年版）」
四輪自動車生産台数の国内シェアは約15%

九州の多様な災害リスク 〈台風・大雨・火山噴火・地震〉

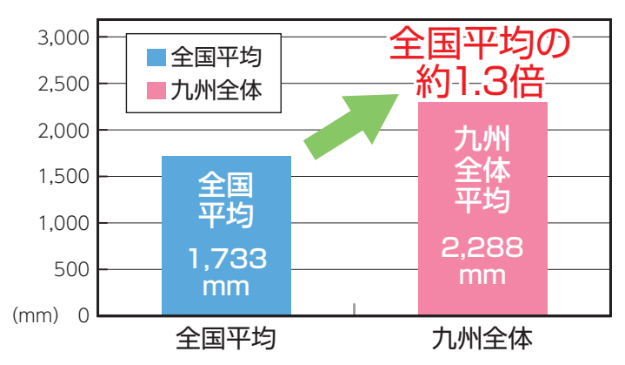
九州地方は、国内の他地域と比較して、台風の上陸回数が多く、火山活動が活発であるなど災害リスクが高くなっています。

◇地域別台風上陸回数(2001.1～2025.12)



※出典：気象庁HP

◇降水量（年平均降水量）



※出典：令和7年度版日本の水資源の現況（1992～2021年の平均値）

◇活発な火山活動(2026年1月28日現在)

九州地方は、全国で111ある活火山のうち、17の活火山を有しています。また、気象庁が発表している噴火警報レベルが2以上の活火山を複数有しています。

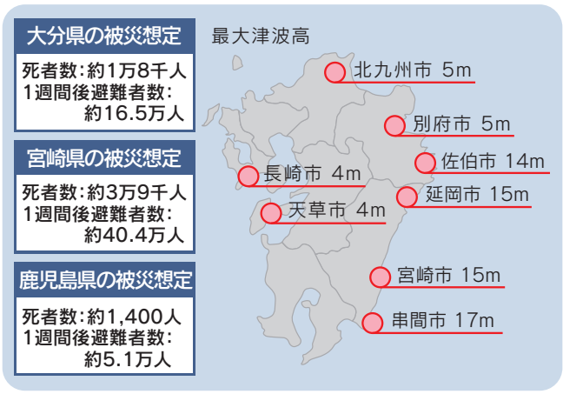
桜島	レベル3
霧島山（新燃岳）	レベル2
諏訪之瀬島	レベル2
薩摩硫黄島	レベル2
雌阿寒岳	レベル2
草津白根山	レベル2
岩手山	レベル2
浅間山	レベル2
焼岳	レベル2

噴火警戒レベル2以上の全国9火山のうち九州に4火山

参考　レベル5（避難）
レベル4（高齢者等避難）
レベル3（入山規制）
レベル2（火口周辺規制）

出典：気象庁HP

◇南海トラフ巨大地震の最大津波高と被害想定


最大津波高
北九州市 5m
別府市 5m
佐伯市 14m
長崎市 4m
延岡市 15m
天草市 4m
宮崎市 15m
串間市 17m

大分県の被災想定
死者数：約1万8千人
1週間後避難者数：約16.5万人

宮崎県の被災想定
死者数：約3万9千人
1週間後避難者数：約40.4万人

鹿児島県の被災想定
死者数：約1,400人
1週間後避難者数：約5.1万人

出典：南海トラフの巨大地震モデル被害想定手法検討会資料(R7.3)

九州の将来像

九州圏広域地方計画（第三次）
【将来像】アジアの成長センター『アイランド九州』
～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

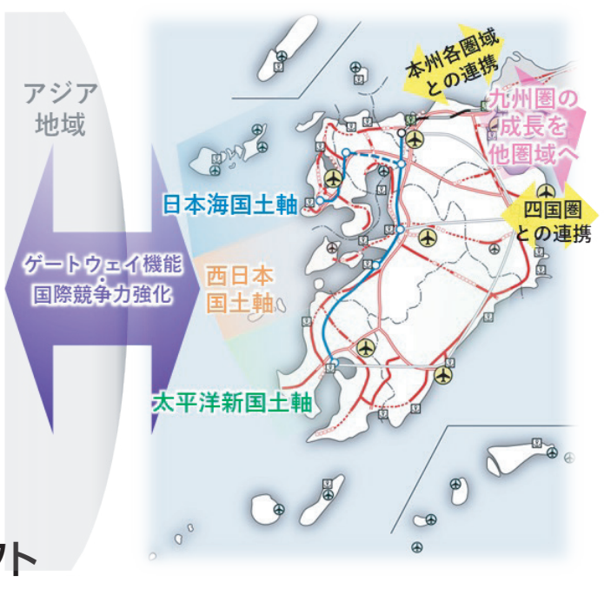
第三次九州圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき令和5年7月28日に閣議決定された「第三次国土形成計画（全国計画）」を受けて、九州ブロックの自立的発展に向けた今後概ね10年間のグランドデザインをまとめたもの。
※2026年4月現在策定中

将来像実現に向けた3つの目標

目標1 成長エンジン「アイランド九州」 ～交流と変化を競争力へ～
ゲートウェイ機能を強化し、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業を創出することで、圏域内の経済や暮らしを成長させ、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

目標2 自立型広域連携「アイランド九州」 ～快適で幸福なくらしへ～
幸福度の高い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融合し都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏の形成を目指す。

目標3 強く美しい「アイランド九州」 ～持続可能でしなやかな社会へ～
強靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい圏域を目指す。


アジア地域
ゲートウェイ機能 国際競争力強化
本州各圏域との連携
九州圏の成長を他圏域へ
日本海国土軸
四国圏との連携
西日本国土軸
太平洋新国土軸

目標を達成するための7つの広域連携連プロジェクト

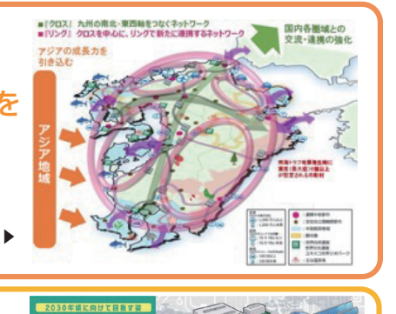
PJ1
アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト

国際物流ターミナルの整備による国際船舶貨物輸出を強化する取組
【博多港アイランドシティコンテナターミナル】▶

PJ5
離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクト

地域生活圏形成に向けた取組
【長崎県五島市のドローン配送】▶

PJ2
ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト


ネットワークの高質化に向けた取組▶

PJ6
経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト

国土強靱化に向けた取組
【流域治水イメージ図】▶

PJ3
強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト

「新生シリコンアイランド九州」実現に向けた取組の一例
【くまもと半導体産業推進ビジョン】▶

PJ7
国内他圏域との連携プロジェクト

西のゴールデンルート
新たなJAPANを開拓せよ。

インバウンド・国内観光客の誘致・滞在長期化に向けた取組
【西のゴールデンルート】▶

PJ4
中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト

都市機能を強化する取組
【天神ビッグバン】▶

九州圏広域地方計画ホームページ
http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/
九州圏広域地方計画　検 索

災害からの復旧・復興

緊急治水対策プロジェクト

筑後川水系巨瀬川緊急治水対策プロジェクト（令和5年7月豪雨からの復旧・復興）

令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指します。

筑後川水系巨瀬川の被害状況（R5.7.10）

巨瀬川の整備状況（R8.1.27）

球磨川水系緊急治水対策プロジェクト（令和2年7月豪雨からの復旧・復興）

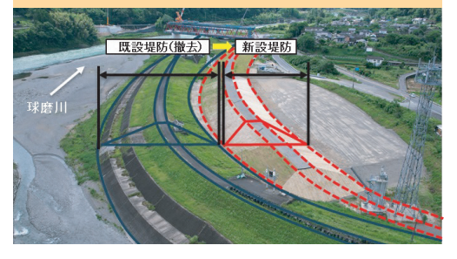
令和2年7月3日から8日にかけて、梅雨前線が停滞し、線状降水帯が九州で多数発生しました。球磨川では、大雨により氾濫が発生し、多数の浸水被害が発生しました。
国、県、市町村等が連携し、球磨川の被災した箇所で、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図ることを目指します。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

球磨川の被害状況（R2.7）

坂本支所
JR坂本駅
球磨川
【ヘリ位置】熊本県八代市

引堤工事の施工状況（球磨村渡地区）（R7.7）

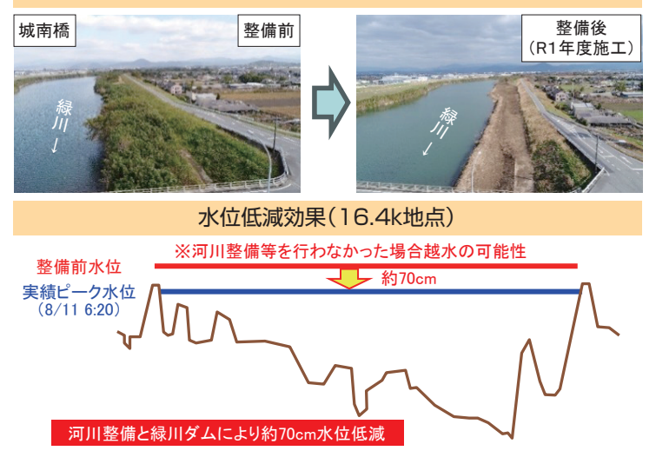

既設堤防（撤去）
新設堤防
球磨川

事前防災対策（防災・減災、国土強靱化対策などによる事業効果）

令和7年8月6日からの大雨により、緑川水系緑川の城南水位観測所では観測史上最高水位である7.49m、菊池川水系合志川の合志雨量観測所では24時間雨量で362mmを記録しました。
防災・減災、国土強靱化対策などで河道掘削や堰改築等の河川整備を進めていたことにより水位低減効果を発揮し、越水を回避することができました。
仮に、これらの河川整備等が無かった場合は越水していたことが想定され、多くの浸水被害が発生していた可能性があります。

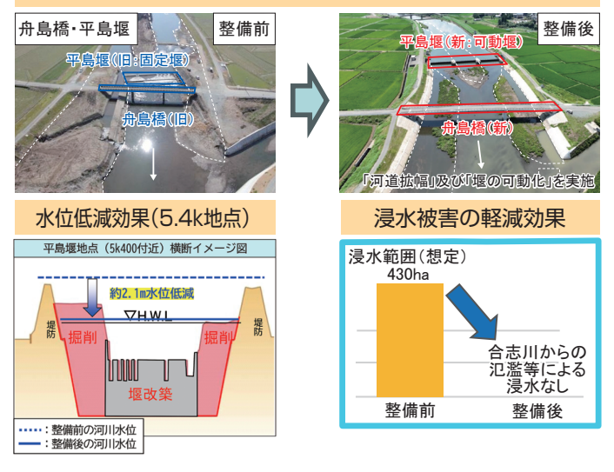
○緑川水系緑川では、緑川ダムによる洪水調節を含め、城南水位観測所上流（16.4k地点）において約70cmの水位低減効果を発揮
○被害想定は浸水面積約450ha、家屋浸水約400戸（被害の軽減効果）

「緑川水系緑川」の整備状況（河道掘削）


城南橋
整備前
整備後（R1年度施工）
緑川
水位低減効果（16.4k地点）
※河川整備等を行わなかった場合越水の可能性
整備前水位
約70cm
実績ピーク水位（8/11 6:20）
河川整備と緑川ダムにより約70cm水位低減

○菊池川水系合志川では、平島堰付近（5.5k地点）において約2mの水位低減効果を発揮
○被害想定は浸水面積約430ha、想定被害額約144億円（被害の軽減効果）

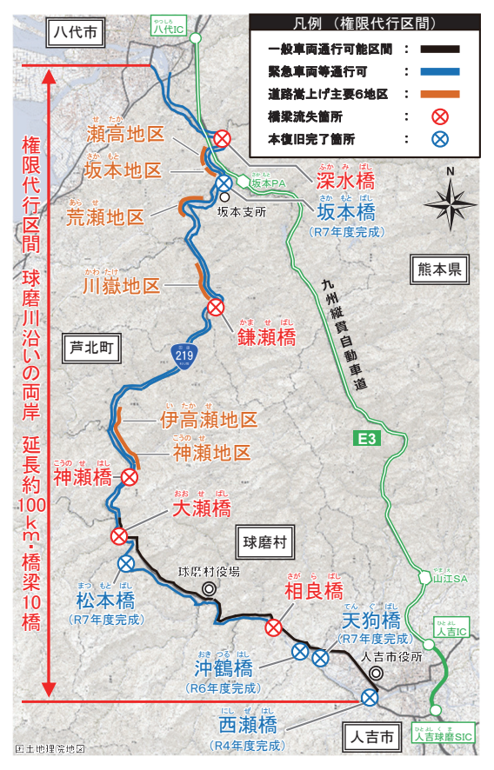
「菊池川水系合志川」の整備状況（固定堰改築及び河道掘削）


舟島橋・平島堰
整備前
整備後
平島堰（旧：固定堰）
舟島橋（旧）
平島堰（新：可動堰）
舟島橋（新）
「河道拡幅」及び「堰の可動化」を実施
水位低減効果（5.4k地点）
約2.1m水位低減
掘削
堰改築
浸水被害の軽減効果
浸水範囲（想定）430ha
合志川からの氾濫等による浸水なし
整備前
整備後

令和2年7月豪雨からの復旧・復興

道路事業の取組

令和2年7月豪雨により被災した八代市～人吉市間の球磨川沿いの道路については、流失した橋梁10橋を含む国道219号や熊本県道等の約100kmを対象に国の権限代行により災害復旧事業を進めています。令和7年度までに西瀬橋・沖鶴橋・天狗橋・松本橋・坂本橋の5橋が順次完成し、国道219号（八代市渡町～坂本橋）の一般車両通行も可能となりました。現在は、残る5橋の上部工工事や道路復旧、かさ上げ工事を継続しており、引き続き早期復旧に全力で取り組んでまいります。


八代市
凡例（権限代行区間）
一般車両通行可能区間
緊急車両等通行可
道路嵩上げ主要6地区
橋梁流失箇所
本復旧完了箇所
権限代行区間 球磨川沿いの両岸 延長約100km・橋梁10橋
瀬高地区
坂本地区
荒瀬地区
川嶽地区
深水橋
坂本橋（R7年度完成）
鎌瀬橋
芦北町
熊本県
伊高瀬地区
神瀬地区
神瀬橋
大瀬橋
球磨村
相良橋
松本橋（R7年度完成）
天狗橋（R7年度完成）
沖鶴橋（R6年度完成）
西瀬橋（R4年度完成）
人吉市

鎌瀬橋（被災当時）

鎌瀬橋（R8.2時点）

川嶽地区（被災当時）

川嶽地区（R8.2時点）

TEC-FORCEの取組

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）は、平成20年4月に創設、令和7年6月に補強と多様な主体との連携を強化し、大規模自然災害が発生して自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災自治体を支援しています。被害状況を迅速に把握する防災ヘリによる上空調査や、TEC-FORCE、TEC-FORCEアドバイザー、TEC-FORCEパートナー等の派遣により被災状況調査、高度な技術指導、緊急対応等を実施し、被災地の早期復旧を支援しています。

令和7年新燃岳噴火への対応

防災ヘリによる新燃岳火口付近の上空調査（鹿児島県・宮崎県）

TEC-FORCEアドバイザー

令和7年トカラ列島群発地震への対応

TEC-FORCEパートナーとのカメラ設置作業状況（鹿児島県十島村）

カメラ設置
TEC-FORCE パートナー

令和7年8月大雨への対応

ドローンによる被災状況調査（熊本県甲佐町）

TEC-FORCEアドバイザー等による被災状況調査（鹿児島県姶良市）

TEC-FORCEアドバイザー